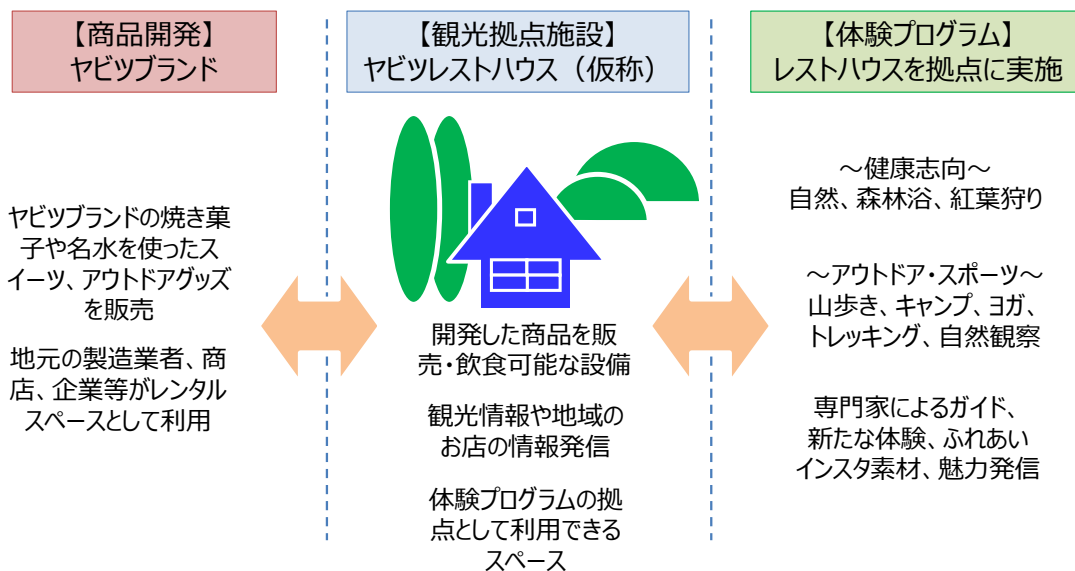


第1章. 観光拠点施設の設計

1.1. 観光拠点施設の方向性

今回設計を行った観光拠点施設（ヤビツレストハウス（仮称））の整備の方向性を以下に示す。

○観光拠点施設の活用イメージ



ヤビツレストハウス（仮称）の活用イメージ

サイクリストと登山者の“ベースキャンプ”



▲サイクリストの中には道路上で休憩する人もいる



▲ヤビツ峠ではバスロータリー付近で多くの登山客が出発準備を整えている

サイクリストや登山者などの活動を支援する拠点

ヤビツレストハウス(仮称)の主な方向性

○サイクリスト

- ヒルクライムのゴール地点としての休憩場所
⇒軽食等の販売による**エネルギー補給**。
- ヒルクライムのタイムや登った回数などのランキングボードなどを用意
⇒施設内にランキングボードを設置し、サイクリストの記録を掲載することでゲーム性を高め、**リピーターを増やす**。サイクルマナーも同時に啓発する。ただし、事故防止・交通事業者への影響等、課題が残る。
- サイクルマナー向上の取り組み
⇒ロードバイクを題材にした漫画家とコラボし、サイクリストの「ヤビツルール」を掲載したメモ帳や付箋などを検討中。
- メンテナンスキットの貸し出しや販売
⇒ロードバイクの急な故障にも対応。宮ヶ瀬方面で実施している店舗があり、ヤビツ峠でも実施することで、ヤビツ峠～宮ヶ瀬方面は「**安心してサイクリングができる**」というエリアに。→**清川村との連携につながる。**



○登山者

- 登山の集合・解散場所
⇒ヤビツ峠～大山ルートの利用促進に加え、伊勢原駅～大山～ヤビツ峠など、ヤビツ峠が終着点となる登山ルートをPRする。登山情報を入手できる場所とする。
- 登山中の休憩場所
⇒蓑毛～ヤビツ峠～大山ルートなどの登山客に対し、軽食等を販売する。
- ヤビツ峠の限定アイテム
⇒民間企業とコラボしたご当地Tシャツやボトルなどのグッズ販売。
- 登山用品のレンタル
⇒ストックなどを貸し出し、ヤビツ峠に加え、表丹沢のほかの拠点で返却できると、**他のエリアとの連携により、回遊性の向上**につながる。
- ヤマビル対策設備
⇒エアコンプレッサーの設置等、衣服や靴に付いたヤマビルを落とせる設備を検討中。



○観光客や地域の方々

- 表丹沢などの秦野市内に加え、近隣市町村の**イベントや観光情報を発信**する。
- “**ふらっと”来てできるコンテンツ**として、プチセラピー体験を実施。
- 自宅や職場から離れてリフレッシュできるサードプレイス。
⇒(例) ハンモックなどを貸し出し、湧水コーヒーとともにリラックスタイムを過ごす。



1.2. 観光拠点施設の整備内容

○建物の概要

物販及び飲食が可能なオープンスペースを確保。

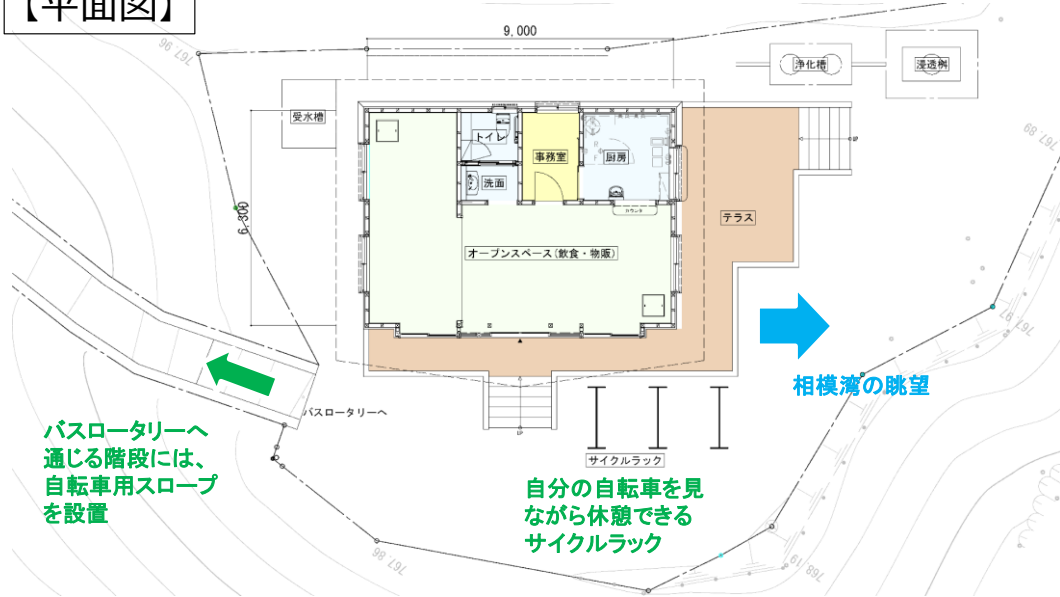
建物内には軽食等のサービスを提供するため厨房を用意。

衣服を着替える登山客にも対応可能とするため、トイレは広めに設計。

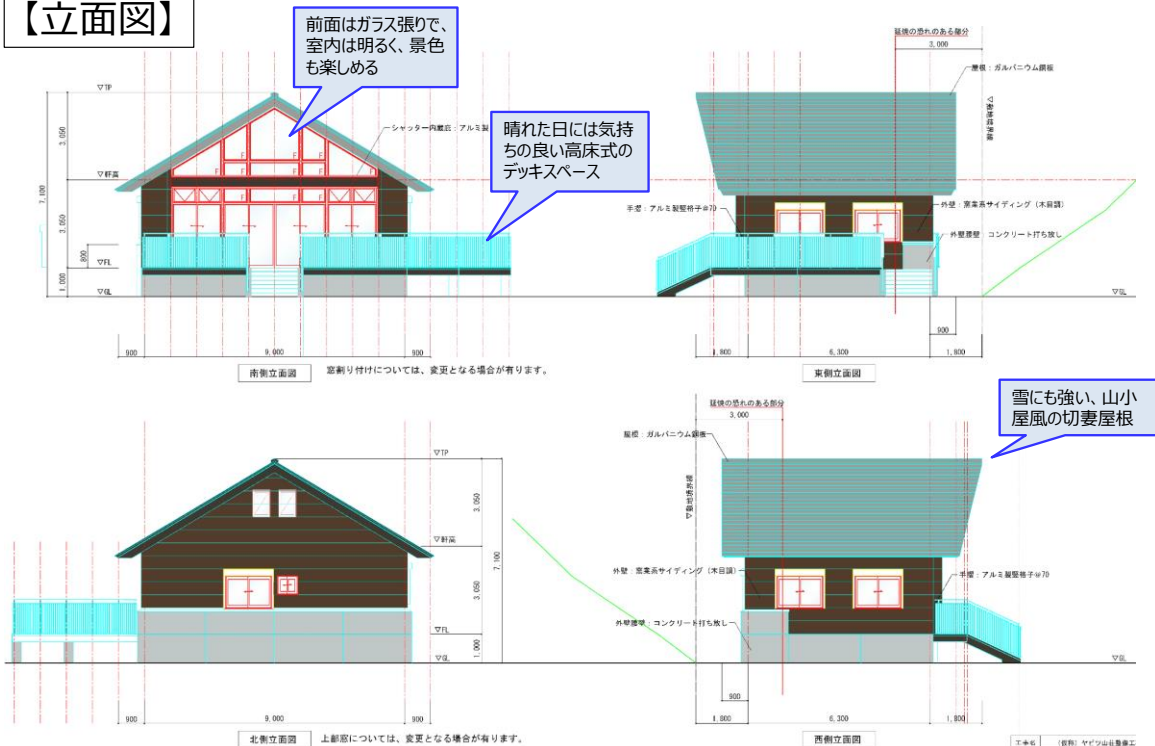
サイクリスト用のスロープやサイクルラックを用意。

アンケート結果では、「新たに欲しい・あつたらいいと思う施設・設備」で「売店・飲食施設等」が第1位！
50人/141人（35%）

【平面図】



【立面図】



【配置図】

